

議会だより

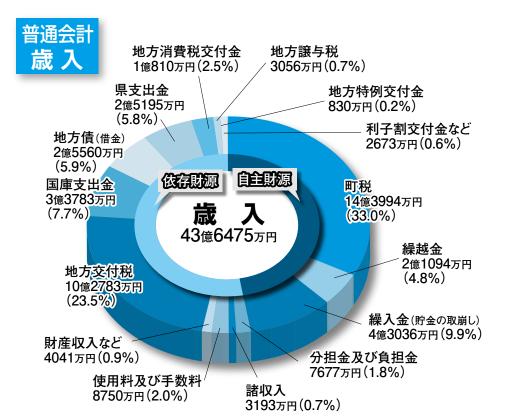


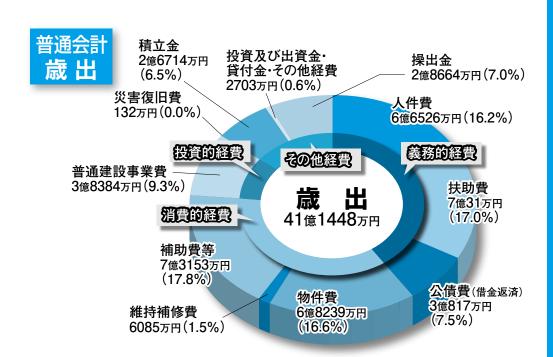
岡山県 里庄町議会



- 25年度決算、全ての会計の成果を認定 ·······(3)
- 「厳しい財政で町の運営は」(総括質疑) ……………(5)
- 町の借金と貯金 (平成25年度) ・・・・・・・・・・・(7)
- 町政を問う (4人が登壇) ・・・・・・・・・・・・・・・(11)

成果を認定!





5 件 案は 般質問では4人 案どおり可決 成 6 25 年 の 廃 B が 会は 0 が1 た 件 87 の姿勢や考えを問いただしまし 26 の の

制

た。



介護老人保健施設特別会計決算のみ賛成多数で認定 そのほかの特別会計と事業会計は全会一致で認定



秋祭りに集う西ノ平地区

ここが反対!

明確な説明が無いまま予算計上

岡村咲津紀議員

人件費の10%の人事管理費が、平成23年度から12.6%になった。議会への報告も無いまま、萌生会との話し合いだけで重大な取り決めをした。

人事管理費は明確な説明が無いまま予 算計上して運営してきた。

職員のユニホームもなぜ里庄町が購入しなければならないのか。

予算で反対したものを専決で処分し続け たことも納得がいかない。

予算決算委員会では不認定!

介護老人保健施設特別会計決算

賛成4:5反対

予算決算委員会に付託された平成25年度会計決算の認定6議案、事業会計剰余金の処分・決算の認定2議案を審査するため、9月9・11・12日に委員会を開催し、担当課の出席を求めて説明を聴取しながら慎重に審査しました。

その結果、一般会計決算は賛成多数(8:1)で原 案を認定し、介護老人保健施設特別会計決算の認 定は賛成少数(4:5)で原案を不認定としました。

そのほかの会計決算と事業会計剰余金の処分・決算は全会一致で原案を認定しました。

平成25年度の主な事業内容

- ・防災情報連携システムを整備
- •自主防災組織活動に補助金 (浜中団地東分館自主防災会、大原中分館自主防災会)
- ・小学校4年生から6年生を対象に防災キャンプ を実施
- •生活道路の維持修繕33件、狭あい道路整備 (本村、狭田・安広、八ツ的)
- •道路新設改良工事 里見315号線(高岡)、新庄トク1号線(才申) 他14件
- ・防犯灯整備(LED化は完了)やガードレール、カーブミラーの設置、路側帯の工事
- ・ため池点検調査(20カ所)
- •高岡新池堤防改修工事と水路等維持修繕(25カ所)
- •公営墓地整備事業
- •地籍調査事業は、0.56 k ㎡実施 (八ツ的、才申、新庄グリーンクレスト、殿迫、本村)
- 統計調査は、住宅土地統計と工業統計調査等を 実施
- ・適正な固定資産税課税のため、土地標準宅地評価等を実施
- ・井笠管内の自治体と共同で縁結び事業を開催

- 各種検診(特定健診、後期高齢者健診、肝炎ウイルス検診、 肺がん検診、胃がん検診、子宮がん検診等)
- ・健康相談120回、健康教育62回、予防接種(4種 混合、インフルエンザ、ヒブ、肺炎球菌等)、妊婦健康診査 (延べ971人)
- ・乳幼児の健康教育、健康診査、訪問指導等の実施
- 不妊治療助成(3件)
- ・障害児相談、児童発達支援、放課後デイサービスの実施
- ・住宅用太陽光発電システム設置事業費の補助 (45件)
- ・保育園の延長保育を促進
- ・東・西幼稚園の預かり保育事業
- ・東・西小学校児童クラブの運営補助金の支給
- ・小学校と中学校に理科教育用の観察実験の設備を整備
- ・東・西小学校、中学校に各1名の英語指導外 国人を配置
- ・生活支援員を小学校15名、中学校1名、幼稚 園3名配置

平成25年度 会計別決算状況

	会 計 区 分	歳 入	歳出	差引
	一般会計	43億6604万円	41億1602万円	2億5002万円
特	国民健康保険	12億4618万円	11億6965万円	7653万円
	育英奨学資金給与	25万円	四0	25万円
別	介護老人保健施設	4億 945万円	3億9021万円	1924万円
会計	介 護 保 険	8億2970万円	8億 731万円	2239万円
	後期高齢者医療	1億2425万円	1億2420万円	5万円

公営企業会	計(税抜)	収 入	支 出	差引
* * * *	収益的収支	2億5573万円	2億4203万円	1370万円
水 道 事 業 	資本的収支	2309万円	7860万円	△5551万円
ハサエル学声楽	収益的収支	2億4067万円	2億2217万円	1850万円
公共下水道事業 	資本的収支	5億 164万円	6億1294万円	△1億1130万円

[※]資本的収支の不足額は損益勘定留保資金等で補てんしました。

平成25年度

その後、 に対して2人が総括質疑を行ないました。 会計剰余金の処分及び決算の認定2議案 平成25年度会計決算の認定6議案、 **|会に付託され審査を行いました。** 議員全員で構成する予算決算委

決 算総括

厳しい財政で町の運営は

繰出金、

負担金はどうな 事業会計への

特別会計、

ったものが含まれ、歳出 前年度から繰り越しにな 取り崩し繰り入れたもの、 は新たに借金したもの、 基金に積んだものが含ま 単年度のみで幾らのプ 借金の返済や ●歳入総額に のか。

策債の返済額と返済後の 借金額はどうなっている しているが、臨時財政対 利子5003万円と記載 2公債費 (借金返済) 元金2億5814万円と

ラスとなったのか。

3特別会計と事業会計ご

減らし、 **5**一般会計から、ほかの むことができないのか。 いる。もう少し基金に積 001万円を繰り越して 4基金1億6321万円 との借金状況、 余剰金の状況は。 次年度に2億5 預金、 基

どのような要因で増とな ったのか。 8万円の増となっている。 ⑥地方税は全体で895 向についてもたずねる。 っているのか。近年の動

後期高齢者医療などの特 として一般会計の扶助費、 の今後増加していくもの 国民健康保険や介護保険、

3下表のとおり。

めている。

政で町の運営をどのよう 完成まで続けるという。 規模は縮小するものの 公共下水道事業は、将来 別会計などが考えられる。 に考えるのか。 厳しくなるであろう財

億991万円で57%を占 35億1416万円、 2一般会計の起債残高は 字となる。 が1億1707万円の赤 60万円を歳入に加える 臨時財政対策債2億38 うち臨時財政対策債は20 歳入歳出の差し引き ●代替財源の その

お父さんの出番(里見保育園)

❸特別会計・事業会計の借金・預金等								
特別会計·事業会計	借金	預金·余剰金·残金等						
国民健康保険	0円	1億2446万円						
介護老人保健施設	0円	4億8521万円						
育英奨学資金給与	0円	24万9千円						
介 護 保 険	0円	1億3260万円						
後期高齢者医療	0円	4万6千円						
水 道 事 業	1億8335万円	3億1000万円						
公共下水道事業	33億7743万円	ほとんど無い						

●不確定な部分が大きく

会計へ2666万円、 なかなかできない。 険特別会計へ1億1千万 **⑤**国民健康保険特別会計
 繰り出している。 水道事業会計へ2億円を 、4949万円、介護保 後期高齢者医療特別 介護、後期特会

投資により償却資産が が増加、また企業の設備 ●退職所得に係る所得割 増加傾向にある。 加したことが要因。

が進む中、また人口減少 事業に優先順位をつけ、 くかかる。 は長期にわたり経費も多 傾向にあり、下水道事業 取捨選択をしながら取り 楽観視しているわけでは 社会と言われる中で、 ている。しかし、決して 健全な状態を維持し 経費の無駄を省き 少子・高齢化 医療費は増加 町

> 町長 年10年では上げる必要が をしている。ただし、5 料金を上げるが、兼ね合 いをとりながら料金設定 本来なら、必要なものは 国保や介護等についても 医療費にしても

ある。 見ながらやる。 る。財政とのバランスを 平成27年度から半分にす かり過ぎるということで 公共下水は、 経費がか

税の徴収率が伸びているが

にあるが、下水道事業は への繰り出しは減少傾向

国保、

程度したのか。 5%増となっている。徴 うな措置をしたのか。差 収率が伸びたが、どのよ て徴収率は前年より0 髙田議員 押さえを25年度はどの ❶町税に関し

3国保、 がある。 2各項目に補正額以上の 後検診の内容を増やす考 まで維持できるのか。今 べきではなかったのか。 不用額が生じている部分 いがあるのか。 今の料金がいつごろ 介護保険につい 減額補正をする

徴収員が戸別訪問をして 町民課参事の滞納者に、

> もらい、 年12月14日から20日にか 対応をしていく。 町としては、 原因がわ かれば 昨

した。 け、夜間、 話催告等を徹底して実施 また徴収の事務、 休日の相談窓 電

すように努力していく。 ってはいけないが、減ら 払えないということがあ もある。減額し過ぎ、支 払いが確定してないもの 担当に不用額を減らすよ うに指導する。 総務課長 2今後は各課 ただ、 支

実施している。 25年度も差し押さえを (32 件)

げることもやむを得ない 来年4月から保険料を上 議会でも状況を報告し 難な状況となっている。 年度当初の予算編成も困 加傾向にある。 国民健康保険の運営協 現状のままでは平成27

| 3医療費は増

現在実施している。 決めるための計画策定を 度から3年間の保険料を 険特別会計は、 が大きく変わることもあ 行われており、 保険事業全体の見直しが 事業自体 平成27年 介護

師会とも相談しながら考

検診の内容は、

今後医

らせる。

と回答をもらっている。 康福祉課長 **3**介護保

厚生体育大会 160オリレー

るので、まだ推計できて できるだけ早い時期に知 いない部分も多くある。

町の借金と貯金(平成25年度の状況)

平成25年度起債額(借金)

下水道事業会計一般会計

3億9334万円平成5年度公債費(元金償還金)

2億4240万円

・水道事業会計 ・下水道事業会計 ・下水道事業会計 ・下水道事業会計

*70億7494万円 平成25年度末起債残高

一般会計

33億7743万円下水道事業会計

地方交付税に算入さ、元利償還金が

3億2-64万円基金(これまでの貯金総額)

いきいき里庄基金 8億3991万円 財政調整基金

地域振興基金 5847万円

開発基金

減債基金 9億3690万円

2億5814万円

一般会計

ふるさと保全基金 2億1197万円

6600万円

スポーツ振興基金 4億5303万円 文化振興基金

1億100万円

土地開発基金 1億9089万円 教育施設整備改修基金

5037万円 **環境整備基金**

1億302万円

古山基金 1008万円

万円



千歳楽(殿迫地区)

設備及び運営に関す家庭的保育事業等の

る基準を定める条例 家庭的保育事業等の設 家庭的保育事業等の設

条例の制定

中国残留邦人等の円

例の整理に関する条一部を改正する法律の施行に伴う関係条をはまする法律のがはませいのがある。

法律題名が改正された

ことに伴い、次の条例の

事業の設備及び運営放課後児童健全育成

に関する基準を定め

基準を定めました。

幼稚園等の運営に関する

認定子ども園・保育所・

基準を定める条例

及び特定地域型保育

特定教育・保育施

事業の運営に関する

部を改正しました。

関する条例・小児医療費給付に

る条例

・心身障害者医療費

条別 療費給付に関する・ひとり親家庭等医

・町営住宅管理条例

関する条例協議会等の設置等にいじめ問題対策連絡

定めました。

定めました。

では関して必要な事項を
を設置し、その組織と運
を設置し、その組織と運
を設置し、その組織と運

(すべて全会一致で可決)

業の設備や運営に関する

放課後児童健全育成事

基準を定めました。

26年度予算



質疑は一般会計が2人、 どおり可決しました。 事業会計1件の補正予算はすべて原案 平成26年度の一般会計と特別会計4件、 特別会計が1人の計3人が行いました。 国民健康保険

疑

般会計

アップしているのは 自衛隊関係費が、 昨年より

費が、 00円もアップしている 昨年より11万40 **1**自衛隊関係

ラック使用料があるが、 度分の返還金46万400 援対策事業費補助金過年 2セーフティーネット支 0円がなぜ発生したのか。 商工費のパンフレット

4 災害対策費で防災士の 向けた協力を要請するの 研修終了後、 何を出品し、 ンクの登録をするのか。 自主防災組織の設立に 町は人材バ 期間は。

がある。 5 幼稚園の代用教諭賃金 教諭採用の経緯

> ❸平成26年9月に、 なっている。 路通行料と若干人数も異 隊第13音楽隊が来る予定 海田市駐屯地の陸上自衛 企画商工課長 里庄まで来る高速道 **①**今回: 東京

3月までの使用料。 がオープンする。その中 っとり・おかやま新橋館 にアンテナショップ「と フレット、マコモタケの 、ンフレットなどを置く。 平成26年10月から翌年 町の観光、移住パン

健康福祉課長 2敬老会

支出が予定より少なかっ の記念品に充てていたが

の登録は考えていない。 総務課長

④人材バンク

もらう。 る中心的な人物になって 自主防災組織を立ち上げ 分館のリーダーとして

調整補助金が、

光ルート事業を行う予定

にしている。

地方振興事業

30 組、

60人を想定した観

用試験を9月21日に実施。 園の2年制に対応する採 入る職員の代用教諭。 教委事務局長 また、来年度から幼稚 6産休に

会 計 名 般 会

補正後の金額 (補正額) 45億 76万円(1億9368万円)

国民健康保険特別 介護老人保健施設特別 介護保険特

12億8131万円 7754万円 8億7403万円

(5882万円) (1923万円) (2555万円) 1億2925万円 (△60万円)

後期高齢者医療特別 水道事業会計

2億7496万円

(3万円)

計

収益的収入

収益的支出

2億6360万円

(21万円)

9月補正の結果

どこを観光させるのか

00円ついている。 では観光用というが、 企画商工課長 新規事業 こを観光させるのか。 説明

タケの収穫体験を、 町内の企業やマコモ

> 里庄町議会だより No.78

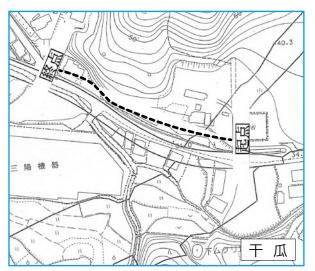
の収納特待事業というこ 髙田議 い安いがなぜなのか。 1000円とある。え 電話機の購入 当初に国保

とで予算の承認を受けて じたため。 分率が変わり、 7月に一般会計との按 元々は5万円位のもの。 差額が生

里庄町大字里見 5760番地1

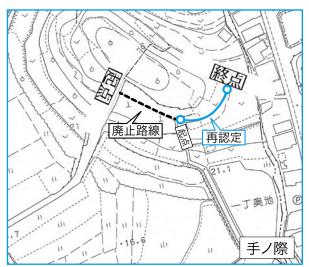
教育委員会委員 朝子氏 認定3議案を審議するた された町道路線の廃止と 建設福祉委員会に付託 9月5日に委員会を

問題なしと判断して全会 係者の承諾も得ており、 には支障がありません。 することで終点への通行 の部分を再度、道路認定 廃止しますが、墓地以外 はいません。全体を一旦 墓地の中にあり、通行人 また代替道もあります。 23号線は道路の形態が して機能していません。 なく、数十年間、 致で認定しました。 里見256号線の約半 干瓜地区の町道新庄2 いずれの議案も利用関 手ノ際分館所有の 町道と



敬老会の催し物(殿迫地区)

廃止路線(町道新庄 223号線)



いました。

開催し、慎重に審議を行

廃止と認定路線(町道里見 256号線)

補

正

「ウイルス性肝炎患者に対する 医療費助成の拡充に関する請願」は 採択

請願-

審議結果

総務文教委員会に付託された意見書を求める請願は、9月3日に委員会を開催し、慎重に審査を行った結果、全会一致を持って採択すべきと決しました。



消防団操法訓練大会



白熱の騎馬戦(里庄中学校)

国に意見書

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の 拡充を求める

- 発 議 -

ウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者が合計350万人以上とされるほど蔓延しているのは国の責めに帰すべき事由によるものである。

肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題であるので、次のことを実現するよう要望する。

- 1. ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること
- 2. 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準につき見直しを行い、患者の今日的状況に応じた認定制度にすること。

町村議会広報研修会

10月8日、サンピーチOKAYAMAへ議会広報の研修に行ってきました。

研修では、議会だよりの紙面構成を活かすための講義がありました。

その中で、

- ○見出しで内容を知らせる。
- ○余白のつかい方。
- ○色の使い過ぎに注意。
- ○写真・図版の見かけのラインを揃える。

など、紙面づくりの基本的な話しがありました。 今後の議会広報づくりに活かしたいと思いま す。



4人の議員が登壇して質問!

岡村咲津紀 議員………

- ① 229号線の交通安全対策
- ② タクシー料金助成事業

平野 敏弘 議員······13P

- ① 町道整備
- ② 企業誘致
- ③ 職員の採用
- ④ 下水道の接続率
- ⑤ フロイデの町主催事業

小野 光三 議員………

① 通学路に防犯カメラ設置を

髙田 卓司 議員・・・・・・・・

- ① 高齢者タクシー料金助成事業
- ② 農業委員の選挙は公正に行われたのか
- ③ 幼稚園2年制

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。



決算審査(予算決算委員会)

9月定例会

229号線の交 通安全対策は

農林建設課長/道路管理者、警察と連携

問

通した。 発している。 加とともに交通事故も多 進しており、 国道2号線と併 が昨年の3月開 町道229号線 交通量の増

がなく、 西側の踏み切り、 での走行も可能である。 道229号線は速度規制 口の速度制限があり、 小学校の信号や里庄駅の 朝夕のラッシュ時、 県道園井里庄線は40キ 法定速度60キロ 西内食 西 町

向けた交通安全対策が重 全な道路、 場所でもある。安心・安 高齢者の横断等で危険な する箇所である。 品南側の交差点やUクリ ナーのT字路等は渋滞 登下校の学生や児童 地域づくりに

ある。 要である。 る意識高揚を促す必要も 町民に交通安全に対す

するのか。 事故撲滅に向けての活 取り組み等はどう

道の事故件数はゼロ件で、 平成25年3月以降、 現在で10件と聞いている。 の発生につながっている。 を出しやすく、暴走車両 カー、 生活道路の安全性は向上 事故は、平成26年8月 ブもなく見通しもよ 比較的スピード 号線は、大きな 町道里見229 旧国

らおりた町道と、 している。 ばきの丘運動公園か 里見2

置した。 起のためのたて看板を設 面に減速マークと注意喚 29号線の交差点に、路

識啓発に努めている。

予定している。 通行者へ注意を促すた カラー舗装の実施を

警察と連携して交通安全 対策を講じる。 を分析し、道路管理者、 事故の発生箇所や原因



渋滞する中坪一踏切付近

岡村咲津紀 議員

チケット条件の緩和は

健康福祉課長/申請状況を 見ながら検討

目的としている。

組のチケットを発行した

8月までに何世帯、

何

決定。 する方向で現在検討して 体が不自由で困っている 今の条件に合わなくても 方などに対しては、 を見ながら必要があれば、 たばかり、 今年度4月から開始し 8月末現在で1 23世帯が交付 今後申請状況

> 里庄町議会だより No.78

機会の促進を図ることを 経済的負担の軽減と外出 歳以

上の高齢者に対し、

助成事業は、 高齢者タクシ

75

問

ってもらいたい。

をしていくという形をと 況を把握しながら、 ている。予算はかかるが、 からは批判の声が上がっ

条件に満たない高齢者

条件を緩和し、世帯の状

助成

平野 敏弘 員



町道の整備計画は

農林建設課長/国の補助事業を有効活用

対策をしてはどうか。 は非常に高い。鴨方と協 や渋滞が発生する可能性 備しても、 工事の着工をする 町民の生活に密 接に関係する重 今以上に事故

> 活用し、 ている。 取り組んでいきたい。 国の補助事業を有効に 生活道路整備に

町長 尾地区、 229号線の

里庄分だけをきれいに整 見川の堤防の道路が狭い、

の堤防のことは、 と協議は全くしていない。 里見川 浅口市

号線の拡幅整備を予定し 迫地区へ入る里見462 里見229号線から 殿

、件費の抑制に努めよ

れない

所がある。

町はど

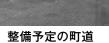
問

く緊急車両が入 町道は幅員が狭

ているのか。

松尾から鴨方へ行く里

のような整備計画を持つ



問

と考えているの 職員は何人必要

拡

具体的計画なし

があると認識している。 幅整備を進めていく必要 要な社会基盤であり、

問 かした企業、 229号線を活 店

して道路維持費2500

道路新設改良費5

今年度、

工事請負費と

を誘致する計画は。 町長 スーパーマーケ

具体的に安広から挟田

高岡地区の町道里

る具体的

な計画はない。

が3件ある。 たところは民地 企業誘致に適し

> 他県の企業から照会があ くためには、 をとっている。 産業の振興、 所得の向上、 で対応できるような体制 った場合には県、 につながる企業誘致など 町がさらに発展してい 税収の維持 活性化が必

ット等を誘致す

要不可欠である。 県にも情報提供をし 雇用の確保、 町両方

すより、 どうか。 対応できることは嘱託職 件費がかかる。 した職員の採用を行い、 員でやってもらう。 定年 担となる。正職員をふや にとって非常に大きな負 1人につき何千万円の人 八件費の抑制に努めては 嘱託職員などで 町の財政

ある。

職場づくりが一番大切で

職者の補充とし ここ数年は、 退

考えはない。 は86名でこの枠を広げる 員定数条例により、 て採用をしている。 採用方針は、 より、定数、里庄町職

A今後、考える。

総務課長/職員定数は88名で

職員を1人採用すると 採用方法をどのよう 定年まで 思うが、 成を目標とした人事評価 業務に取り組めるような っている。 員を選抜していく形にな 制度等を取り入れている。 とした人材育成、 副町長 職員がやる気を持っ 将来幹部になり得る職 平成20年ぐら 目標設定を前提 から導入したと 人材育

年間数百万円、

に考えているのか。

Qフロイデの主催事業は Aできないと考える。 Q下水道完了後の維持管 その他の質問 やっていけるのか。 理費は、下水道会計 事業の投資額を増やし 回数を減らし、 たらどうか。 1 回 の

教委事務局長/設置する方針で進めたい

になったところを狙われ 問 中に女児が一人 倉敷市で、下校

カメラを設置してはどう

とができる。

考えていく必要がある。 そこで、通学路に防犯

禁事件があった。この事 連れ去られた女子児童監 校内に防犯カメラを設置 た動きが活発化している。 通学路の安全確保に向け 件を受け、県内で子供の 町の小・中学校には、

犯カメラがほとんどない。

小学校の登下校

ているが、通学路には防 し不審者の侵入を監視し

のこったのこった! (八幡神社 宮地地区)

される。

児童・生徒等の安全を

きな犯罪抑止効果が期待 設置することは非常に大

本町も、防犯カメラを

路に防犯カメラを設置す 確保する意味からも通学

る方針で進めたいと考え

ている。

がら関係課等と協議を行 の警察署の意見を聞きな めどにPTAに場所の選 定作業をお願いし、所轄 そこで、10月末ごろを

完全とは言えない。

今後、どのように子供

見守ってくれているが、 安全パトロールの方々が 時には、ボランティアで

目の届かない場所もあり

より安全にしていくかを の安全を守り、通学路を

> 犯罪を未然に防止するこ 県からの補助もあり 事件後、玉島警

があった。 カメラの設置促進の要請 有効な通学路等への防犯 住民への安心感の提供に 等を狙った犯罪の抑止と の安全対策として、子供 察署長から子供



光三 小野 議員



登下校時の安全パトロール

髙 田 阜 司 議 員



料金助成事業、 齢者タクシ-を確保す 公平性

今後検討して適正に対応したい 町長/

的と違うのではないか。 3車に乗っている人にも 兄弟が隣にいても付き合 出しているが、当初の目 いをしていないこともあ てもそれぞれ家族がある。 ◆町内に家族が住んでい 他人に譲渡はないか。

公平性を確保すべき。 条件、 事情をよくみて

ことが目的で事業は順調 を図り福祉の増進を図る 進及び閉じこもりの予防 に進んでいる。 とにより、 経済的負担を軽くするこ ●タクシー料金 の一部を助成し 外出機会の促

町長

/選管が出した結果

2 笠岡、 とができ、 8業者が登録をした。 たことで運転を控えるこ ❸タクシー券の支給をし 者に登録を依頼した結果、 浅口の全ての業 安全が確保で 告制となっている。 覧ができないのか。 者の閲覧ができるが、 業委員会の選挙はなぜ閲

有権者の資格は自己申

2県へ問い合わせたら、

不公平である。

きる。

●高齢者タクシ 一料金助成事業

問

4皆様の意見を聞き、 年度に向けて検討中。 来

町長

になったのか。

2利用できる業者はどこ

の当初目的と結果は。

けれど、 正に対応したい。 今後検討して適 ●初年度はいろ いろあるだろう



問

●幼稚園2年

制

はいつどこで決

町長/アンケート調査結果や国の方針

なぜ相談がない

タクシーチケット

窓口へ要望が多

町長

●従前から担当

相談がないのか。

2なぜ決める前に議会に

まったのか。

や国の方針などで決めた。 アンケート調査結果

2各課の課長と

時に言った。 ことで幼稚園の卒業式の く決めた方が良いという 相談した結果早

国がやっていることだ

と回答をもらった。 さい」と言われ、 では「それはおかしい」 なぜ、 有権者の閲覧が 、農政局

公平・公正に行われたのか

員の選挙は

に行われたのか。

般選挙の場合、

有権

権者か分かる。 を行っている。

農

新しく出る人は、

だれ

が有権者か雲をつかむ話、

有権者が分からないため、

問

挙は公平・ ❶農業委員の選

公正

あるかないかのチェック

だれが有

の農業委員は、

選挙権が

度や立候補者の氏名掲示 ❷県の選管へ確認したら、 もできないと判断した。

できないのか。 から農政局へ聞いてくだ

閲覧にかかる規定は準用 準用し、閲覧制

度はない。 されないため、

閲覧の

制

❷選管が出した結果を、 町がどうこう言うことは からないので選管に話は した。私はあった方がい いという気持ちはあった。 町長 ●期日前投票前 ●期日前投票:

ばよかった。 できない。 町が突き詰 いて調べ れ

SCE B 地域の

第11回

緒だとなんか楽し

申 子 供

슾

睦会を行い、 作る子供達は、とても生 中でオリジナルの作品を 作りを体験しました。 であり地域の皆様の協力 通年行事を行うのは大変 64名です。それだけに、 稚園児から小学生までの を得ながら活動をしてい 友の両地区合わせて幼 今年の夏は、 キャンドル 親子で親

ています。又、地区の清 祭りがあり、子供神興を紅葉を迎える頃は、秋 き生きとして印象に残っ を披露しました。 会では、有志で集まり歌 と草取りをしたり、 掃を兼ねて老人会の方々 敬老

護者の協力が必要不可欠坂道も多いので大勢の保

巡行するには、道が細く

3月には歓送迎会を予定12月にはクリスマス会、 願い致します。 ます。この秋祭りが才申 どのお店が出て、 き鳥・フランクフルトな 大変感謝しています。 ている地域の皆様には、 時の見守りをして下さっ しております。 子供会の大イベントです。 野山様の奉納相撲の後、しています。そして、木 方々と楽しい時間を過ご 八幡様の奉納相撲もあり いつも子供達の登下校 日々成長していく子供 おでん・豚汁・焼 地域の

団・有志の方々の支 かよしサロン会・



《第78号》 平成26年10月31日 発行

発行/岡山県 里庄町議会 7719-0398 岡山県浅口郡里庄町 TEL(0865)64-7217 FAX(0865)64-3618

編集/議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.okayama.jp

台風到来という天気予報の中、町内 のあちらこちらで神輿の掛け声が響き、 豊作を祝う秋祭りが開催されました。

3月に予算決算委員会がスタートし、 9月からこの委員会は、一般の方も傍聴 可能となりました。

町民の皆様、定例会と同様に足をお 運び頂き、委員会の様子を傍聴してい ただきたいと思います。

(岡村)



委員長: 眞野博文 副委員長: 小野光三 委員: 松原繁之 委員: 岡村咲津紀

編集委員